



住所 〒283-8686 千葉県東金市丘山台3-6-2

TEL 0475-50-1199

● 病院の概要



病床数	一般… 279床	療養… 0床	結核… 0床	精神… 0床	感染… 0床
1日平均外来患者数	401人	医師数(常勤)	74人		
1日平均入院患者数	203人	指導医数(再掲)	23人		

● 妊娠・出産・子育て中の勤務環境

■ 妊娠出産	■ 育児	■ 子育て
当直免除 ※ 時間外勤務免除 〇 短時間勤務制度 ー	当直免除 ※ 時間外勤務免除 〇 短時間勤務制度 〇	院内保育園 〇 院内学童保育 ー

[※]は「診療科による」等の条件あり、「ー」は制度なし

● 臨床研修

■ 2024年度研修受入数	1年目 0名	2年目 0名
■ 処遇 ①基本給 (2024年度)	1年目 370,000円/月	2年目 390,000円/月
②賞与・手当	賞与なし・時間外手当あり	
③当直	回数 3回/月(うち1回は休日日直)	
	当直料 1年目 10,000円/回	2年目 15,000円/回
④休暇	土日祝、12/29~1/3、有給休暇20日/年など	
⑤保険適用	あり	
⑥宿舎	あり(家賃0円/月)	
■ 出願期間(予定)	2025年7月上旬	~ 2025年8月上旬

【臨床研修の特徴】

研修医に対する指導医の比率が高いため、手技を円滑に行え、個人の裁量が尊重され、自主的に学ぶ環境が整っています。研修プログラムは個々の進捗に応じて柔軟に調整可能です。採血当番などのduty業務はなく、CV挿入や胸腔穿刺、Aライン確保などの基本的な手技に積極的に参加できます。救急科研修では、高エネルギー外傷や敗血症性ショック、心肺停止症例など、研修医でも積極的に初期対応に関与できます。総合診療科研修では、総合診療医ならではの診療技法を学ぶ、千葉大学医学部附属病院総合診療科との合同カンファレンスにも参加できます。新しく設備が整った病院で、研修医一人ひとりに専用のデスクが与えられます。診療科間の連携が取りやすい環境中規模病院ならではの長です。

【病院の特徴】

- ★ 千葉市街から30分で通勤可能、研修医には敷地内宿舎を無料提供
- ☆ 三次救命救急センター併設、総合診療科では千葉大学医学部附属病院との合同カンファレンス
- ★ 毎月研修医勉強会開催、研修医にも学会発表のチャンスあり
- ☆ 千葉大各診療科への入局がスムーズ、内科系診療科志望者には当院での継続研修も可能

【プログラム責任者・指導医からのメッセージ】

2014年にオープンした比較的新しい病院です。ここ数年は、協力型臨床研修病院として千葉大学たすきがけ研修医や短期研修医を多数受け入れており、2025年度からは当院オリジナルの研修医も仲間に加わります。常に10名前後の研修医が院内で活躍します。指導医の比率も高く、また、各診療科医局からは毎年10名以上の専攻医が派遣されています。素直でやる気のある方の応募をお待ちしております。

【先輩研修医からのメッセージ】

当院の初期研修の特徴は、自由度が高く、自主性が尊重される点です。上級医の指導の下で、患者さんの初診から治療までを一連の流れで学び、手技の機会も豊富です。やる気次第でどこまでも研鑽を積むことができます。また、月3回の当直や救急科研修を通じて、軽症から重症までの幅広い症例に研修医が積極的に関与し、初期対応力を養うことができます。開院してまだ新しく、綺麗な設備の整った当院へぜひ一度見学に来てください。

● 専門研修

■ 基幹となっている基本領域
内科 〇 小児 〇 皮膚 〇 精神 〇 外科 〇 整形 〇 産婦 〇
眼科 〇 耳鼻 〇 泌尿 〇 脳外 〇 放射 〇 麻酔 〇 病理 〇
臨検 〇 救急 〇 形成 〇 リハ 〇 総診 〇
■ 処遇 ①給与モデル(5年目参考・当直料等込) 約950万円/年+時間外手当 (2024年度)
②休日休暇 土日祝、12/29~1/3、有給休暇20日/年など
③保険適用 あり
④宿舎 あり(家賃18,000円/月)
■ 連携・関連施設となっている基本領域
内科 〇 小児 〇 皮膚 〇 精神 〇 外科 〇 整形 〇 産婦 〇
眼科 〇 耳鼻 〇 泌尿 〇 脳外 〇 放射 〇 麻酔 〇 病理 〇
臨検 〇 救急 〇 形成 〇 リハ 〇 総診 〇

【専門研修の特徴】

千葉市街から30分で通勤可能で、引っ越しの必要もありません。各診療科医局からは毎年10名以上の専攻医が派遣されており、十分な指導実績があります。多くの診療科は学術活動にも積極的に参加しており、エビデンスに基づいた診療が行われています。

内科系診療科志望者には、当院オリジナルの内科専門研修プログラム(基幹型)の用意もあり、当地区出身の若い先生や千葉県医師修学資金貸付制度を利用した若い先生のニーズにもお応えできます。2025年度からも本プログラムで専攻医の先生が活躍します。学会発表の指導、病理解剖の実施(CPCの開催)も精力的に行っており、J-OSLERの症例登録もスムーズに行えます。